



ふるさと栗山で輝くヒトをクローズアップ

きらり☆栗山人

(一社) 栗山青年会議所理事長 あまの 天野 たかお 剛生さん



父の背中の奥に、自分のための活動を見つけた今

**日常とともにあった
栗山青年会議所との関わり**

20〜40歳がまちづくりに主体的に関わる栗山青年会議所(以下、JC)は、今年創立55周年を迎えます。

理事長の天野さんは町出身。父・一彦さんの熱心なJC活動の中で幼少期を過ごします。「父は毎日のようにJCの仲間と町の将来を語り合っていました。当時はJCをよく理解していませんでしたが、サマーキャンプやサッカーのイベントにも参加することができ、父の活動を好意的に見ていましたし、それがあたりまえの光景だと思っていました。」

仲間の熱意が「自分のための活動」へと繋がった

自分も大人になれば家業の印刷業を継いでJCに参加する、と考えていましたが、高校生の頃にその家業が悲運に見舞われます。縁もあり一時は株式会社アマノ印刷として再生しますが、平成30年に父の死を機に再び会社を清算することに。「父

は続ける気でしたが、病床に付しながらも伝票を整理する姿を母と見ていると、胸に詰まっていた想いが溢れました。私が継ぐことも考えていましたが家族で話し合った結果、会社をたたむことにしました。」

しばらくは心の整理が付かずJCの活動も控えていましたが、新たな仕事も落ち着いたら令和元年、活動を再開することに。「仲間たちが熱心に私を誘ってくれまして、漠然としていたJCの活動がその時はじめて『自分のための活動』へと変わりました。その想いが今の活動の源になっています。」

**父の背中に追いつき
背中を見られる立場に**

理事長として、かつてのお父さんと同じ立場になった天野さん。「後輩や子どもたちにだらしのない背中を見せられませんか」と創立55周年記念企画のため東奔西走している毎日です。



な栗のnoteに
き内容は、
し公開のま
紹介「くりやま」
い山町「く」と
紹介「く」と

